

「知風に育まれる小熊の子」 コミュニティ・スクール ～ 新型コロナウイルスに負けない取り組み～

令和3年1月

▼書面会議で

・第2回の学校運営協議会も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集型の会議を開催しないで、書面による会議としました。防災の取り組みについて評価していただきました。(9月)

▼学習支援部会1：稲刈り(5年生)と

芋ほり(1, 2年生)は老人クラブの皆さんと



5年生が本校の実習田で育ててきた稲を、米農家の栗山さんと老人クラブ(坂口会長)の皆さんと一緒に、稲刈りを行いました。米の刈り方や束ね方などを学びました。栗山さんからはコンバインを見せてもらいコンバインを使った稲刈りの話も聞きました。地域の皆様、ありがとうございました。

1, 2年生が、東小熊の畑で地域の方が育ててきたサツマイモの収穫を老人クラブの方と一緒に行いました。収穫に協力して下さった南谷様、老人クラブの皆様、ありがとうございました。

本校では地域の皆様とともに児童の学習を進めます。(写真左=稲刈り10月12日、写真右=芋ほり10月29日)

▼学習支援部会2：読み聞かせ、小熊音頭



秋の読書週間に合わせて地域の方による読み聞かせを行いました。絵本「はらぺこあおむし」では、日本語と英語で読み聞かせをしたところ、いつも以上に児童は熱心に聞いていました。小熊コミセンと連携して3年生が、地域に伝わる伝統の踊り「小熊音頭」を教えていただきました。大橋館長さんによる小熊音頭の歩みの紹介の後、体育館で大きく輪になって踊りました。稲穂の振り付けも学びました。皆様、ありがとうございました。(写真左=読み聞かせの皆様、9月29日、写真右=みんなで踊った小熊音頭、11月10日)

▼新型コロナウイルス感染拡大の中で「地域とともにある学校」づくり

新型コロナウイルスに負けない学校づくりを今後も推進していきます。よろしくお願いします。